

150th
1875-2025 ANNIVERSARY



ハリス理化学館同志社ギャラリー第36回企画展
同志社創立150周年・アーモスト大学創立200周年記念

未来
を

アーモスト大学と
同志社の交流史

切り拓く

*An Exchange of Consequence:
The History of Amherst College and Doshisha*

2025

10.1_水-12.7_日

休館日：祝日、月曜日

10:00-17:00 (最終入館は 16:30 まで)

入場無料

ハリス理化学館同志社ギャラリー
2階 企画展示室

(同志社大学今出川キャンパス)

共催：アーモスト大学・同志社大学

未来を切り拓く

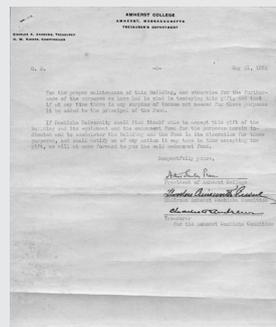
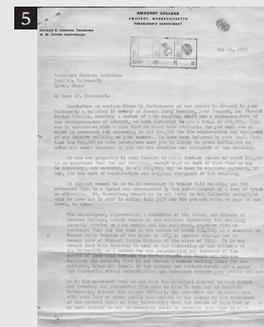
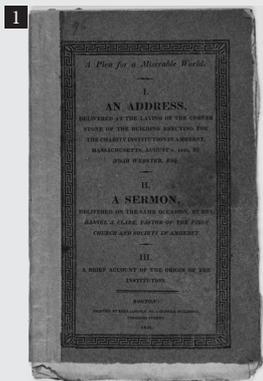
—アーモスト大学と同志社の交流史—

今から155年前の1870年、同志社の創立者新島襄はアメリカの大学を修了し、近代国家のリーダーとして必須の教養を身に付けました。以来、この大学と同志社は現在に至るまで様々な形で交流を続けてきました。この大学がアーモスト大学 (Amherst College) です。現在では全米でも常に上位にランクされる Liberal Arts College として知られ、2021年に創立200年を迎えました。

新島の卒業以降もアーモスト大学は、同志社と様々な形で交流を続けてきました。同志社の初期からアーモスト大学出身の教員が教壇に立ち、同志社創立60周年を迎える1935年には交流の象徴である同志社アーモスト館が正式に開館しました。アーモスト館の完成は、その後、戦前のアーモスト大学学生代表や

戦後のアーモスト同志社フェローなどの今日まで続く両校の交流を促進・補完する役割を担っています。また、1954年には新島スカラーが、1984年には同志社新島スカラーが創設され、現在も毎年同志社出身の学生がこれらの留学生派遣制度を利用してアーモスト大学で学んでいます。このように、150年以上にわたり、学校、教職員、学生といった様々なレベルで交流が深化・継続されてきました。

本年第3弾となる企画展は同志社とアーモスト大学の長年の交流を記念した特別な展示です。本展のために、アーモスト大学から200年の歴史を象徴する最初期の貴重な資料が同志社にやってきました。両校の歴史だけでなく、アーモスト大学と日本の縁を資料を通じて紹介します。



1 A Plea for a Miserable World Noah Webster 他 1820年 アーモスト大学所蔵

2 同志社旗及びアーモスト大学校旗 年不詳 同志社大学国際センター国際課所蔵

3 水彩画「雷神」新島襄 年不詳 アーモスト大学所蔵

4 G. A. リーランド肖像写真 年不詳 アーモスト大学所蔵

5 アーモスト館寄附書簡 大工原銀太郎宛 Arthur Stanley Pease 他2名 1932年5月21日付 同志社大学同志社史資料センター所蔵

6 アレクサンドリアン協会のペンダント 1870年代～1880年代 アーモスト大学所蔵

ハリス理化学館同志社ギャラリー2階 企画展示室

(同志社大学今出川キャンパス)

京都市上京区今出川通烏丸東入 京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩5分

お問い合わせ先

ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室

Tel. 075-251-2716

同志社ギャラリーホームページ <https://harris.doshisha.ac.jp/>

※合理的配慮が必要な方は、事前にご連絡ください。
ご要望内容を検討のうえできる限りの対応をさせていただきます。

